

# 万防機構の活動に関するQ&A

## Q1. 万防機構とは？

正式名称は「非特定営利活動法人 全国万引犯罪防止機構」です。店舗での窃盗（万引）犯罪を防止し、地域の安全・安心を取り戻すことを目的としたNPO法人です。

## Q2. いつできたの？

2005年6月23日に設立しました。

2003年末、東京都が「東京都万引対策協議会」を立ち上げました。その後、全国で30を超える万引対策組織が地域ごとに創られました。それらの組織を支援する全国組織として発足したのがこの万防機構です。

## Q3. どんな人がやっているの？

理事長は竹花豊さんで、元東京都副知事です。万防機構は会員と理事18名、監事2名、評議員14名で構成され、その出身は小売業団体、防犯団体、警備業団体と様々ですが、専従者を除き無報酬手弁当で活動に参加しています。

## Q4. どんな人が会員なの？

設立当初、正会員約30名(団体)で発足した万防機構ですが、現在では賛助会員や特別会員を含め会員数約140名(団体)と拡大してきました。法人会員には、書店、ドラッグストアをはじめ、衣料品や食品のチェーンストアなど多くの企業が加入され、万防機構を活用し、不明ロスの削減などに取り組んでいます。

## Q5. 年会費は幾らなの？

個人会員は1口5千円、法人会員は1口5万円です。積極的に活動に参加されている企業には10口、20口で加入している会員もあります。

## Q6. どんな取組みをしているの？

万引を防止するために多くの取組みをしていますが、万防機構の特徴的な活動を7つ紹介しましょう。

### 1. インターネットでの盗品換金を防止する！

ネットオークションサイトやフリーマーケットに、万防機構会員企業の商品を多数出品しているアカウントを調査し、ネット事業者とも連携し、万引常習犯の摘発と抑止に繋げています。(インターネット対策委員会)

## 2. 万引犯の顔認証情報を企業間で共有し、次の万引きを抑止する！

企業間で万引犯の顔認証情報を個人情報保護法を遵守して共有し、A社の店で万引した者がB社の店に入店するとアラームが発する仕組みを実験しています。(渋谷プロジェクト)

## 3. 大量万引情報を企業間で緊急通報する！

ドラッグストア、衣料品店等での大量窃盗団の被害発生情報を地域の企業間で共有し、次の被害を未然に防ぐ取組みを行っています。(緊急通報プロジェクト)

## 4. 企業内でロス予防の人材を早期育成する！

万引を含む不明ロス削減には、教育と人材育成が不可欠です。そこで、教育テキストと資格試験制度を開発しています。(ロスプリ教育制度作成委員会)

## 5. 万引犯への損害賠償請求を広める！

万引犯捕捉や警察への届け出処理に掛かった人件費を万引犯に支払わせることで、再犯の抑止を図る取組みです！万引犯への「損害賠償請求」パンフレットを作成しました。これらの取組みで不明ロス率が1.5%から0.08%に改善したケースが紹介されています。

## 6. 行政と連携し高齢者の万引を防ぐ！

高齢者向けの万引防止啓蒙ポスター、小冊子をはじめ、万引既遂者への教育DVDを製作しています。(神奈川県高齢者万引防止プログラム作成委員会)

## 7. 中学生に万引防止を啓蒙する！

全国の中学1万校余に7年連続して、万引防止壁新聞を頒布して校内掲示をしています。2019年からは保護者向けの小冊子を各校に配付、追送希望が殺到し大きな反響を呼んでいます。

**万防機構は、万引犯罪を防止し不明ロスを削減することを通じて、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に貢献します。皆様も万防機構に入会し、一緒に活動を推進していきましょう！！**